

1 倉敷市文化交流会館の現状について、貴団体のご意見をお聞かせください。

① 練習室の広さ・設備・機能について

- ・現在、コロナ禍のため一部の50名程で大練習室を使用していますが、互いの距離をとると部屋一杯です。
- ・建物の構造上の問題で、横幅（奥行き）に少し余裕がある一方、縦幅が狭いため、通常の演奏配置ができません。
- ・機械の換気機能は十分に働いていないと聞いてます。30分毎のドア開放を必要としない換気機能を望みます。
- ・静かに演奏する曲の部分で空調（冷暖房）のファンの音が大きく演奏の邪魔になっています。

② 楽器庫の広さ・設備・機能について （※楽器庫利用団体のみ回答ください）

- ・今の広さに余裕は無く、ティンパニ4台と大太鼓、指揮台等で1Fはほぼ満杯になっています。
- ・マリンバやシロフォンなど鍵盤楽器を解体せずに収納できる程のスペースがあれば助かります。
- ・窓があると太陽光や湿気が入り込み高温多湿となる季節は収納楽器の保管状態に良くないです。窓は不要です。

③ その他（トイレや駐車場等）について

- ・トイレは女性用トイレの数が不足しています。
- ・駐車場の広さが施設利用者数に対して足りていないため、建物奥側のみ奥から詰めて止めています。そのため、必要に応じて駐車場整理をしています。

④ 利用時間について

- ・午後10時の閉館では時間が不足する場合があります。

⑤ 利用料金について

- ・減免していただいております。特に不満はありません。

⑥ 予約・受付体制について

- ・平日の営業時間内に事務所まで出向いて精算せねばならず、とても不便に感じています。

⑦ 芸術文化団体運営会議について

- ・練習場が競合した際の話し合いのためにあるのかと思いますが、それ以外はあまり必要性を感じていません。

2	整備を検討している複合施設について、貴団体のご意見をお聞かせください。
	① 施設（規模・機能、楽器庫、その他）について、特に希望すること ・チェロやコントラバス等の大型楽器のケースを置く場所も必要なこともあり、現状の70人程でもかなりの密集度を感じています。移転先は80～100名が入っても余裕を持って演奏できる広さにしていただきたいです。 ・楽器をトラックに積み下ろしがしやすい構造と楽器庫から搬出入口までの通路はバリアフリーにしていきたい。 ・楽器庫は、縦の空間を有効に活用できるよう、使用者の意見を聞いたうえで丈夫な棚を設置していきたい。 ・楽器庫には窓や化粧板などは不要です。少しでも安く仕上げて必要な部分にお金をかけてください。 ・楽団が使用する広さの練習室は他に無く不足しています。大練習室を2棟、中練習室を1棟は建てていただきたい。 ・複合施設にするよりも、1棟ずつ独立して建てた方が、防音対策や利用の面でよいのではないのでしょうか。 ・文化交流会館の第1練習室や第2練習室の広さは他に同様の施設があるので、それを無くしてでも大練習室の広さは維持していただきたい。・公衆Wi-Fiを設置していただきたい。 ② 運営面（利用時間・運営体制等）について、特に希望すること ・施設管理は、セコムなどの24時間無人管理（施錠・解錠）がよいのではないのでしょうか。 ・午後10時閉館では時間が足りないときがあるため、夜時間の区分貸しに1時間単位で延長できるシステムを望みます。 ・施設の清掃を含む管理は、近くの福祉施設が担ったらよいのではないのでしょうか。 文化振興財団には、施設管理ではなく、ソフト事業に特化した運営に期待したいです。 ・利用料金は、現行よりあまり高くないようにしていただきたいです。 ・施設の予約から決済までインターネットでできるようにしていただきたい。 ・空調のオン・オフは利用者が室内から操作でき、精算もインターネットで決済できるようにしていただきたい。 ・継続利用団体の活動安定ため、年度初めに年間使用枠を一括予約受付とし、その後に先着順としたらどうでしょう。 ③ 今後の登録団体制度のあり方について 新しい施設が整備されると、新規に利用を希望する団体もあると思われます。 このことを踏まえたうえでご意見をお聞かせください。 ・文化交流会館がオープンした当時に運営会議に参加した際、新規団体から「既得権はないだろう」と言われた記憶があります。今回、文化振興財団には、長年にわたり活動して文化振興に実績を残している主要な文化団体を守っていただきたいです。 ・新しい練習施設の登録団体制度が、これまでの音楽祭等の市主催イベント等への参加実績（地域文化への貢献度）、団体の継続性、団体規模（団員数の多さ）などが考慮され、当団体にメリットがあるのであれば、制度を存続していただきたいと思います。
3	その他、お気づきの点がありましたらお聞かせください。 ・文化団体にとって練習場が創造の場として如何に重要なものであるかを文化振興財団も市へアピールしていただきたい。 ・和太鼓が使用する練習室にピアノがあると、和太鼓の音の振動でピアノの調律がすぐに狂う。複合施設（同じ建物）の場合、和太鼓が叩くと、別室でも会議や音楽練習をするのは難しいと思います。 ・音楽の練習には良い音響であることがとても重要であり、天井の高さや壁の素材がポイントになります。新しい施設では音響専門家の意見を取り入れて設計していただきたい。 ・新しい施設の練習室には、合唱や金管奏者が乗る山台を備えていただきたい。9m×1.8m ・市民会館や芸文館に備品として保管されているティンパニなどの楽器を新しい施設の楽器庫に集約させ、一般の団体に貸し出せるようにすれば、楽器の利活用が進むし、助かる団体もあるのではなかろうか。

※なお、倉敷市では、公共施設個別計画（案）について、2月14日（月）から3月4日（金）の間、パブリックコメントで意見を募集しています。

ご協力ありがとうございました。